

資料館だより

令和6年 (2024)通巻第20号

- ◆ 「堀川 吉田・大膳間の切貫」が福岡県指定史跡に決定しました
- ◆ 令和5年度事業報告
- ◆ 令和6年度事業予定
- ◆ 刊行物紹介
- ◆ ギャラリー利用案内

福岡県指定史跡「堀川 吉田・大膳間の切貫」

新聞報道などでもご承知のとおり、令和6年(2024)3月29日に水巻町吉田東から北九州市八幡西区大膳にまたがる堀川の切貫(車返切貫)の区間が福岡県指定史跡「中間唐戸の水門」の追加指定という形で「堀川 吉田・大膳間の切貫」として県史跡となりました。17世紀初めに筑前福岡藩の藩主黒田長政が遠賀川の洪水の防止、田畑の灌漑、物資の輸送を目的に洞海湾までの分水路を計画しましたが、長政の死去で中止、120年後に再度工事が再開され、中間・寿命2つの水門を整備し文化元年(1804)に完成しました。

この工事で一番の難所が車返でした。長さ456m、幅6.3m、高さ最大14mの岩盤を9年の歳月をかけて切り開いたものです。

明治以降は石炭の輸送路として昭和初期まで繁栄しました。戦後は宅地化が進み、田畑も減り、灌漑用水としての機能を失いました。さらに生活雑排水が流れ込みへドロ化し淀みと悪臭や洪水が発生するようになりました。これを改善するための河川改修が繰り返されてきました。歴史的遺産である車返にも工事の手が及ぶことになり、保存運動がおこり、行政と住民で協議しました。残念ながら工事は着工され川床の一部が破壊されました。その後は住民と行政が一体となり河川の浄化運動や清掃活動を進め、環境が改善され、史跡のガイドツアーなどもさかんになってきました。一方で平成19年(2007)経済産業省の「近代化産業遺産」、平成27~28年(2015~16)に流域の北九州市、中間市、水巻町の文化財保護部局が協力し、「堀川文化財総合調査」を実施、これまでも歴史的には一定の評価があったものの、さらに一歩進めて多角的な視点から専門家に評価いただきました。車返は江戸時代に開削された切通しの中では全国一長いものであり、また2つの水門は強固で洪水を防御するためのもので土木史上では珍しいことなどが評価されました。令和元年(2019)には文化庁の「歴史の道百選」に追加選定され、将来保護すべきものとして位置づけられました。こうした動きが、今回の指定につながったものと思われます。ここまで到達するのに長い時間がかかりましたが、多くの方々のご支援・ご協力や地道な活動なくしては実現できませんでした。

これを契機に、堀川のPRにより力を入れ、地域の活性化につながることを期待しています。



川ひらた



堀川



調査の様子

令和5年度事業報告

■ 二・宮ノ下遺跡 報告展

日時：7月1日(土)～8月30日(水)

場所：歴史資料館・展示室

内容：令和3年8月に水巻町二西の個人住宅建築の発掘調査が行われ、12～15世紀(平安～室町時代)の土器や祭祀跡が発見されました。また、弥生から古墳時代の遺物も発見され、町の歴史を解明する貴重な資料として整理を行い紹介しました。



■ 企画展「水巻なつかしの写真展」

日時：7月1日(土)～8月30日(水)

場所：水巻町図書館町民ギャラリー

来館者：6,832名

内容：戦前から昭和50年代までの水巻の懐かしい写真を約120点と炭住模型や生活風景をイメージした居間に昔の道具などを一緒に展示しました。珍しい「米軍輸送機の不時着」写真について座談会も行われて水巻の歴史を掘り起こすことができました。



■ 講座「新春を彩る苔玉づくり」

日時：12月11日(日) 14:00～16:00

場所：水巻町図書館視聴覚ホール

参加者：15名

講師：吉岡 学さん(樹木医)

内容：吉岡先生の丁寧な指導とボランティアさんのサポートのおかげで、シクラメンとハツユキカズラなどの緑がきれいな苔玉二つを製作しました。苔玉の魅力と管理方法も教えていただきました。



■ 歴史講演会 堀川の原点回帰「起工者 栗山大膳について」

日時：2月11日(日) 10:30～12:00

場所：水巻町図書館視聴覚ホール

講師：元自由ヶ丘高校教諭 三浦 明彦さん

参加者：32名

内容：「栗山大膳」についての講演は、初めてであったという間に申込が定員いっぱいになりました。生い立ちからの生涯と関わる家族、人物像を深くわかりやすく、ユーモラスにお話していただきました。



■ 「古文書講読会」 4月～3月

日時： 毎月第2木曜日 13時30分～15時

場所： 図書館視聴覚ホール

受講者： 8名

講師： 有馬 守氏(水巻町文化財保護委員)

内容： 水巻にゆかりのある「入江文書」を継続して解読しています。長く継続されている方も多く、ペースも上がり、解読も順調に進んでいます。



■ 歴史ボランティア活動 4月～3月

回数： 41回

場所： 歴史資料館内・町内随所

参加者： 延べ 64名

内容： 歴史散策ガイド、学校支援、講座支援、収蔵庫清掃を行いました。月2回定期的に資料の整理(古文書・写真)を行っています。



■ ギャラリー展示 (6件)



期間	団体名(内容)		期間	団体名(内容)	
4/11～4/23	くろがね川柳 (川柳作家展)		9/6～9/12	かみつき虫 (切り絵展)	
5/16～5/21	書道教室 (書道展)		9/21～9/26	玄海愛石会 (水石展)	
5/23～5/28	個人 (能面展)		10/3～10/5	にじいろクラブ (クレパス画展)	

刊行物紹介

歴史資料館では、水巻町に関する書籍を事務室で販売しています。あなたの町を再発見してみませんか！



販売書籍案内

水巻昔ばなし	1,000 円
水巻おもいでの写真集	1,000 円
増補 水巻町誌	4,000 円
水巻の炭鉱とその暮らし	200 円
石炭物語	2,000 円

令和6年度事業予定

※日時・時間などは変更になる場合がございますので事前にご確認下さい。状況によってはやむを得ず中止、延期とさせていただきます。ご了承下さい。

◆バスツアー 県史跡「堀川 吉田・大膳の切貫」指定記念

期日：5月18日(土)9:00~12:00 集合解散：水巻町図書館

定員：水巻町在住の方20名(応募多数の場合抽選) 参加費：500円(保険料込)

内容：中間唐戸や中間民俗資料館、水巻の堀川近郊をバスで巡ります。

申込受付：4月25日(木)~5月8日(水)窓口か電話で受け付けます。



◆ミニ企画展「県指定 堀川 吉田・大膳の切貫」展

期日：7月20日(土)~8月31日(土)

内容：県指定史跡になるまでの堀川の歴史を写真や資料で振り返ります。



◆体験講座「火起こし器を使ってみよう」

期日：10月~11月予定 場所：南部公民館・屋外(雨天中止)

対象：小学生(低学年は保護者同伴) 15組

内容：火起こし器の体験と起こした火を使って簡単な調理を行います。

参加費など未定



◆講座「稲穂で作る正月飾り」

期日：12月15日(日) 場所：水巻町図書館視聴覚ホール 定員20名

内容：新年に向けて稲穂を使ったかざりを製作します。

参加費など未定



◆歴史講演会「遠賀郡の2つの年代記に見る江戸時代の風水害」

期日：2月9日(日) 10:30~12:00 場所：水巻町図書館視聴覚ホール

講師：有馬 守氏(水巻町文化財保護委員)

歴史資料館の企画展示室は、町民ギャラリーとして、営利目的や宗教活動・政治活動・管理運営上支障がある場合などを除き、町内の方々に発表の場として無料で貸し出しています。水巻町在住の方、水巻町に勤務されている方は、無料でご利用いただけます。詳細は資料館事務室へお問合せ下さい。

水巻町歴史資料館

807-0012 水巻町古賀三丁目18番1号

Tel 093-201-0999 Fax 093-201-0995

<https://www.town.mizumaki.lg.jp/>

